

【令和6年度調査】第5次村山市総合計画後期基本計画 <成果指標>

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	生活環境の充実	乗合タクシー利用者数 (総合戦略にも計上)	4,270人/年度	3,086人/年度	3,285人/年度	3,022人/年度	2,590人/年度	3,721人/年度	5,000人/年度	市民環境課	
			<p>【指数の説明】 路線バスが運行されていない地域において実施している乗合タクシーの利用者数であり、公共交通網の維持確保の取組が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間150人ずつの増加を目指す。</p>								
2	生活環境の充実	地元購買依存率 (総合戦略にも計上)	44.5%	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	44.0%	政策推進課	
			<p>【指数の説明】 山形県買物動向調査に基づくもので市民が村山市内で買い物している割合であり、買い物しやすい環境の確保が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 実績に基づき現状の水準を維持</p>								
3	多様なタイプの住む場所の設定	空き家バンクによる契約成立件数 (総合戦略にも計上)	5件	5件 (合計14件)	3件 (合計17件)	1件 (合計18件)	6件 (合計24件)	4件 (合計28件)	合計24件	まち整備課	
			<p>【指数の説明】 空き家対策の充実に関わる支援事業の年間件数であり、住環境の改善、空き家の流通・解消実績を測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間3件ずつ増加として算定(令和元年度4件)</p>								
4	多様なタイプの住む場所の設定	子育て応援・定住促進事業支援数累計	195件	38件 (合計233件)	78件 (合計311件)	70件 (合計381件)	80件 (合計461件)	78件 (合計539件)	555件	建設課	
			<p>【指数の説明】 住宅の建設支援を通じた、定住促進に係る年間支援件数であり、定住促進事業の進捗を測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間60件ずつ増加として算定(令和元年度 件)</p>								
5	交通基盤の整備	道路・橋りょう維持管理上の事故件数	2件	1件	1件	1件	1件	2件	0件	建設課	
			<p>【指数の説明】 市が管理する道路の管理瑕疵により保険適応となった事故件数であり、道路施設の計画的な維持管理が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 瑕疵による事故を発生させないことが適正なため、目標値は0を設定</p>								

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値 R6	担当課	グラフ																						
				R2	R3	R4	R5	R6																									
6	交通基盤の整備	橋りょう長寿命化のための修繕橋りょう数	5橋	7橋	9橋	11橋	12橋	12橋	13橋	建設課	B	<table border="1"> <caption>橋りょう修繕数実績値</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>2</td><td>7</td><td>6</td></tr> <tr><td>3</td><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>4</td><td>11</td><td>8</td></tr> <tr><td>5</td><td>12</td><td>10</td></tr> <tr><td>6</td><td>13</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	年	実績値	目標値	1	5	5	2	7	6	3	9	7	4	11	8	5	12	10	6	13	11
			年	実績値	目標値																												
1	5	5																															
2	7	6																															
3	9	7																															
4	11	8																															
5	12	10																															
6	13	11																															
【指数の説明】 橋りょう長寿命化を行うことで、橋の適切な維持管理が行われているかを測る指標です。	【目標値の設定根拠】 村山市全体の橋りょう数10%の橋りょう数を旨ず。(市道の橋りょう数130橋)																																
7	良質な上下水道サービスの提供	水道管路の耐震適合率 (総合戦略にも計上)	24.5%	25.0%	25.4%	26.7%	27.0%	27.3%	27.4%	水道課	B	<table border="1"> <caption>水道管路耐震適合率実績値</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>24.2</td><td>24.2</td></tr> <tr><td>2</td><td>25.0</td><td>24.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>25.4</td><td>25.5</td></tr> <tr><td>4</td><td>26.7</td><td>26.1</td></tr> <tr><td>5</td><td>27.0</td><td>26.8</td></tr> <tr><td>6</td><td>27.3</td><td>27.4</td></tr> </tbody> </table>	年	実績値	目標値	1	24.2	24.2	2	25.0	24.8	3	25.4	25.5	4	26.7	26.1	5	27.0	26.8	6	27.3	27.4
			年	実績値	目標値																												
1	24.2	24.2																															
2	25.0	24.8																															
3	25.4	25.5																															
4	26.7	26.1																															
5	27.0	26.8																															
6	27.3	27.4																															
【指数の説明】 水道管路の耐震化適合の割合であり、安全・安心な水道水の安定的な供給が行われているかを測る指標です。	【目標値の設定根拠】 村山市水道事業経営戦略の目標値に基づき設定																																
8	良質な上下水道サービスの提供	下水道水洗化率 (総合戦略にも計上)	87.6%	88.1%	88.7%	89.2%	89.8%	90.0%	88.2%	水道課	A	<table border="1"> <caption>下水道水洗化率実績値</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>87.6</td><td>87.6</td></tr> <tr><td>2</td><td>88.1</td><td>87.7</td></tr> <tr><td>3</td><td>88.7</td><td>87.8</td></tr> <tr><td>4</td><td>89.2</td><td>88.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>89.8</td><td>88.1</td></tr> <tr><td>6</td><td>90.0</td><td>88.2</td></tr> </tbody> </table>	年	実績値	目標値	1	87.6	87.6	2	88.1	87.7	3	88.7	87.8	4	89.2	88.0	5	89.8	88.1	6	90.0	88.2
			年	実績値	目標値																												
1	87.6	87.6																															
2	88.1	87.7																															
3	88.7	87.8																															
4	89.2	88.0																															
5	89.8	88.1																															
6	90.0	88.2																															
【指数の説明】 下水道整備区域のうち、下水道を実際に使用している割合であり、河川等の水質悪化を防止し豊かな自然環境の維持及び衛生的な生活環境の確保を測る指標です。	【目標値の設定根拠】 村山市下水道事業経営戦略の目標値に基づき設定																																
9	雪対策の充実	30年経過の消雪ポンプ数	29/60箇所	25/60箇所	24/60箇所	24/60箇所	26/60箇所	27/60箇所	11/60箇所	建設課	B	<table border="1"> <caption>30年経過の消雪ポンプ数実績値</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr><td>2</td><td>25</td><td>22.2</td></tr> <tr><td>3</td><td>24</td><td>19.4</td></tr> <tr><td>4</td><td>24</td><td>16.6</td></tr> <tr><td>5</td><td>26</td><td>13.8</td></tr> <tr><td>6</td><td>27</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	年	実績値	目標値	1	25	25	2	25	22.2	3	24	19.4	4	24	16.6	5	26	13.8	6	27	11
			年	実績値	目標値																												
1	25	25																															
2	25	22.2																															
3	24	19.4																															
4	24	16.6																															
5	26	13.8																															
6	27	11																															
【指数の説明】 消雪ポンプについて30年以上経過しているポンプの設置数であり、きめ細かな除雪に取り組むため消雪ポンプ施設の計画的な維持管理が行われているかを測る指標です。	【目標値の設定根拠】 消雪ポンプが30年経過したものについて年間3箇所更新することを目標値として設定																																
10	雪対策の充実	除雪報奨金制度利用件数	49件	51件	46件	43件	37件	43件	55件	建設課	C	<table border="1"> <caption>除雪報奨金制度利用件数実績値</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>49</td><td>49</td></tr> <tr><td>2</td><td>51</td><td>50.2</td></tr> <tr><td>3</td><td>46</td><td>51.4</td></tr> <tr><td>4</td><td>43</td><td>52.6</td></tr> <tr><td>5</td><td>37</td><td>53.8</td></tr> <tr><td>6</td><td>43</td><td>55</td></tr> </tbody> </table>	年	実績値	目標値	1	49	49	2	51	50.2	3	46	51.4	4	43	52.6	5	37	53.8	6	43	55
			年	実績値	目標値																												
1	49	49																															
2	51	50.2																															
3	46	51.4																															
4	43	52.6																															
5	37	53.8																															
6	43	55																															
【指数の説明】 雪対策の充実を図るため地域一丸となって住民自らが除排雪作業した際に交付した報奨金の件数であり、地域住民が安全安心を確保するため雪対策に取り組んでいるかを測る指標です。	【目標値の設定根拠】 年間1件ずつ増加として算定																																

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6	R6			
11	移住交流の促進	移住に関する相談件数 (総合戦略にも計上)	79件/年度	25件/年度	52件/年度	60件/年度	75件/年度	107件/年度	80件/年度	政策推進課	A	
			<p>【指数の説明】 移住イベントや市に直接あった移住に関する相談の件数であり、移住希望者に対する効果的な情報発信が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 実績に基づき現状の水準を維持</p>									
12	移住交流の促進	移住相談会開催回数 (総合戦略にも計上)	4回/年度	5回/年度	7回/年度	8回/年度	8回/年度	8回/年度	5回/年度	政策推進課	A	
			<p>【指数の説明】 関係機関等が主催する移住相談会に参加した件数であり、移住希望者に対する効果的な情報発信が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間5回を目標値として設定</p>									
13	家族に寄り添う子育て支援体制の充実	教育・保育施設入所待機児童 (総合戦略にも計上)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課	A	
			<p>【指数の説明】 保育園等申込者のうち、保育園等に入れない子どもの数であり、保育サービスの充実度を測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 待機児童がいらないことを継続することで、保育サービスの充実及び健やかに成長できるまちづくりにつながるものとして設定</p>									
14	家族に寄り添う子育て支援体制の充実	ファミリーサポートセンター会員の活動件数 (総合戦略にも計上)	288件	73件	129件	216件	250件	262件	300件	子育て支援課	B	
			<p>【指数の説明】 地域住民による相互の子育て援助活動である「ファミリーサポートセンター事業」の活動件数であり、地域における子育て支援が実施されているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 子どもの人数が減少傾向にあるため現状の水準を維持</p>									
15	心身ともに健康で安心な体制づくり	7か月児の絵本の読み聞かせ・1歳児歯磨き教室の参加割合	89.2%	80.6%	85.2%	86.7%	81.9%	90.0%	90.0%	保健課	A	
			<p>【指数の説明】 法的に定められた1歳6か月児・3歳児健診以外の事業への参加割合であり、相談事業の利用普及が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 現状の水準を維持</p>									

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値 R6	担当課	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6				評価
16	心身ともに健康で安心な体制づくり	すくすく村山アプリ登録件数	280件	441件	506件	583件	-	-	580件	子育て支援課	A	
			【指数の説明】 子育て支援に係る情報を発信している子育てアプリの利用登録数であり、子育て世帯に対し効果的な情報発信が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間50件ずつ増加として算定									
17	様々な困難への適切な対応や支援	サポートスクール「てんとむし」の利用率 (総合戦略にも計上)	24.0%	23.7%	24.2%	28.7%	32.2%	33.5%	50.0%	学校教育課	C	
			【指数の説明】 精神面や経済面で不安定な家庭環境にある子どもに対し行っている学習支援の利用者の割合であり、充実した教育支援が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 対象となる児童生徒の半数の利用者を旨す。									
18	様々な困難への適切な対応や支援	ひとり親家庭への就職相談のうち就労に結びついた件数の割合 (総合戦略にも計上)	32.7%	63.1%	52.6%	55.0%	60.0%	72.2%	35.0%	子育て支援課	A	
			【指数の説明】 ひとり親で就労していない者が相談の結果として就労に結びついた割合であり、家庭の経済状況の改善が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 5年間で2%増を旨す。									
19	地域に愛着を持てる憩いの場や居場所づくり	「むらやまし縁結びたい」による結婚に至った件数 (総合戦略にも計上)	0件/年度	0件/年度	0件/年度	4件/年度	3件/年度	7件/年度	1件/年度 計10件	子育て支援課	B	
			【指数の説明】 むらやまし縁結びたいのお見合い活動による成婚数であり、婚活支援の成果を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 えんむすび隊年間1人1件成婚、全体で10件の成婚を旨す。									
20	中心市街地の賑わい創出と快適な生活環境づくり	都市計画道路の整備率	62.1%	62.5%	63.0%	64.0%	64.4%	65.0%	65.1%	まち整備課	B	
			【指数の説明】 都市計画道路は都市の骨格を形成する最も基幹的な都市施設であり、その整備率は、安全安心な市民生活や機能的な都市活動を支えるための骨格となる道路整備の進捗状況を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 今後実施予定の都市計画道路整備を加算して設定									

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6	R6			
21	村山IC周辺の好アクセスを活かした環境づくり	駅西エリアに誘致した商業施設数 (総合戦略にも計上)	1社	0社 (合計1社)	1社 (合計2社)	0社 (合計2社)	0社 (合計2社)	0社 (合計2社)	合計3社	政策推進課 商工観光課	C	
			<b>【指数の説明】</b> 国道13号西側の駅西エリアにおいて誘致した商業施設の件数であり、企業誘致が行われているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 5年間で2社の増加を目指す。									
22	河西・北部エリアの地域素材を活かした環境づくり	北部エリアに立地等固定資産を投資した企業数	1社	0社 (合計1社)	1社 (合計2社)	1社 (合計3社)	1社 (合計4社)	3社 (合計7社)	7社	商工観光課	A	
			<b>【指数の説明】</b> 投資総額が2,700万円以上となる企業を対象に、金谷工業団地周辺に立地した件数及び新たに設備投資を行った件数であり、企業の立地及び留置が行われているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 年間1社を目標値として設定									
23	効率的な生産基盤の確立	大区画水田面積 (総合戦略にも計上)	229.9ha	280.4ha	280.4ha	300.6ha	337.1ha	383.0ha	282ha	農林課	A	
			<b>【指数の説明】</b> 水田面積1ha以上の大区画水田の面積であり、生産性の高い圃場の整備が行われているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 現在整備中の西郷名取、長島、大高根新西地区の経営体育成基盤整備事業をモデルとして将来の方向性を見極めつつ算定									
24	効率的な生産基盤の確立	担い手の農地利用面積の拡大 (総合戦略にも計上)	2,071ha	2,230ha	2,381ha	2,412ha	2,443ha	2,511ha	2,177ha	農林課	A	
			<b>【指数の説明】</b> 担い手の農地利用(集積)面積であり、集落、地域が抱える「人と農地の問題解決」のため、担い手が耕作しやすくなるように農地の集積が行われているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 人農地座談会資料の目標値に基づき設定、農地集積率50%を目指す									
25	豊かな農業経営の推進	認定農業者数 (総合戦略にも計上)	270人	241人	232人	230人	215人	183人	260人	農林課	D	
			<b>【指数の説明】</b> 農業経営改善計画を策定し認定を受けた農業者の人数であり、農業の経営改善が行われているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 高齢化等により認定農業者は減少するが、若手農業者を新規で認定し年間2人程度減少するとして算定									

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6	R6			
26	豊かな農業経営の推進	新規就農者数 (総合戦略にも計上)	9人/年度	9人/年度	7人/年度	14人/年度	15人/年度	14人/年度	10人/年度	農林課	A	
			【指数の説明】 地域農業の担い手として新規に就農した人数であり、耕作放棄地の抑制と市幹産業の堅持が図られているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 実績に基づき現状の水準を維持									
27	森林資源の保全及び景観の維持	自然環境体験事業数	7回/年	2回/年	7回/年	6回/年	7回/年	7回/年	7回/年	農林課	A	
			【指数の説明】 幼児から大人まで幅広い世代の方が自然環境体験事業を通じて自然との触れ合い・大切さを学習し、森林を身近な存在とし感じてもらうため、充実した森林学習や環境教育、森林活動が行えているかどうかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 自然環境体験事業の実施回数を維持するとして算定									
28	森林資源の保全及び景観の維持	ふるさと教育の森における植林面積	0.476ha/年度	実績なし	0.3985ha/年度	0.6ha/年度	0.4993ha/年度	0.4993ha/年度	0.5ha/年度	学校教育課	B	
			【指数の説明】 市内中学生全員を対象とした森林学習における植林の面積であり、自然環境の保全及び環境教育が推進されているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 今後実施予定の植林面積を加算して設定									
29	経営力向上・企業連携支援	企業支援効果額	11,632千円/年度	56,652千円/年度	12,028千円/年度	9,653千円/年度	6,961千円/年度	9,808千円/年度	20,000千円/年度	商工観光課	D	
			【指数の説明】 市内企業の受注獲得支援金額および現場改善支援活動を数値で表したものであり、市内企業への支援効果を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 受注獲得支援金額および国・県補助金受給額の合計、年間20,000千円を目標値として設定									
30	経営力向上・企業連携支援	収益改善支援件数 (総合戦略にも計上)	-	0件	0件	0件	0件	0件	6件	商工観光課	D	
			【指数の説明】 山形大学方式による収益改善に基づいた学術指導を受けた件数であり、経営力の向上が図られているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間1件を目標値として設定									

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値						目標値 R6	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	評価			
31	ものづくりのためのひとづくり支援	ものづくり人材育成支援件数 (総合戦略にも計上)	9人	43人 (合計52人)	21人 (合計73人)	15人 (合計88人)	13人 (合計101人)	27人 (合計128人)	39人	A		
				<p>【指数の説明】 製造技術の向上に資するもので、研修機関において実施する研修事業を受講した人数であり、若手の技術力向上と高度な技能が継承されているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間9人を目標値として設定</p>								
32	地域の特徴を生かした商業の支援	創業支援関連及び小規模企業活性化補助事業などの申請件数 (総合戦略にも計上)	6件	1件 (合計7件)	4件 (合計11件)	2件 (合計13件)	2件 (合計15件)	2件 (合計17件)	12件	A		
				<p>【指数の説明】 起業・創業者数や新築・改築した店舗数及び新規事業を行った事業者などの支援件数であり、企業の活性化が図られているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間11件程度ずつ増加として算定</p>								
33	地域の特徴を生かした商業の支援	経営に関するセミナーなどの受講企業数 (総合戦略にも計上)	6法人	8法人 (合計14法人)	16法人 (合計30法人)	26法人 (合計56法人)	18法人 (合計74法人)	15法人 (合計89法人)	100法人	B		
				<p>【指数の説明】 安定した経営を目指すためにセミナーを受講した企業数であり、魅力ある企業づくりへの支援が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間20法人の受講企業数を目指す。</p>								
34	農商工連携による新たな発見支援	新製品(商品)開発件数 (総合戦略にも計上)	4件/年度	8件/年度	9件/年度	10件/年度	9件/年度	8件/年度	2件/年度	A		
				<p>【指数の説明】 地域住民で組織する6次産業化推進協議会やローズプロジェクトによる新たな商品開発の年間支援件数であり、6次産業化支援が実施されているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 6次産業化戦略構想の目標値に基づき設定</p>								
35	農商工連携による新たな発見支援	6次産業化支援事業費補助金利用件数(延べ) (総合戦略にも計上)	11件	5件 (合計16件)	2件 (合計18件)	2件 (合計20件)	4件 (合計24件)	7件 (合計31件)	23件	A		
				<p>【指数の説明】 加工品等の製造に必要な加工施設等の整備等に対する支援、加工品等の開発に要する経費、販路開拓に係る経費に対する補助金の利用件数であり、6次産業化が推進されているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 年間2件を目標値として設定</p>								

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	R6		
36	農観連携による取組と地産地消の推進	アグリランド事業体験ツアー企画参加者数	1,228人/年度	612人/年度	845人/年度	758人/年度	896人/年度	944人/年度	4,500人/年度	農林課	
				【指数の説明】 市内に点在する自然、景観、農産物、食文化などの地域資源や、既存の農業関連施設や観光施設、様々な形態の宿泊施設などを組み合わせたツアー企画参加者数であり、農観連携と地産地消が推進されているかを測る指標です。							
【目標値の設定根拠】 ツアー企画1件あたり参加者150人とし、年間30件のツアー企画を目指す。											
37	東沢公園エリアのブラッシュアップ	市内観光入込客数 (総合戦略にも計上)	1,540,500人	782,500人	812,100人	1,022,900人	944,400人	923,400人	1,570,000人	商工観光課	
				【指数の説明】 山形県観光者数調査実施要領に基づく、市内観光地や産直施設など18箇所の観光入込客数の総人数であり、観光資源が活用されているかを測る指標です。							
【目標値の設定根拠】 年間5,000人を目標値として設定											
38	東沢公園エリアのブラッシュアップ	東沢バラ公園来場者数 (東沢公園有料入園者数) (総合戦略にも計上)	210,300人/年度 (53,775人/年度)	79,600人/年度 (14,106人/年度)	94,000人/年度 (30,251人/年度)	101,000人/年度 (32,916人/年度)	90,400人/年度 (32,815人/年度)	92,589人/年度 (33,665人/年度)	230,000人/年度 (55,000人/年度)	商工観光課	
				【指数の説明】 東沢バラ公園の年間入場者数の推計値であり、(有料入園者数は春・秋のバラまつり期間あわせの有料入園者数)観光資源が活用されているかを測る指標です。							
【目標値の設定根拠】 年間4,000人増を目標として設定											
39	最上川三難所エリアのブラッシュアップ	そば街道観光誘客数 (総合戦略にも計上)	239,400人	147,400人	140,000人	131,400人	140,500人	140,000人	244,200人	商工観光課	
				【指数の説明】 最上川三難所そば街道加盟店における年間誘客数であり、そば街道の認知度及び集客力を測る指標です。							
【目標値の設定根拠】 年間600人を目標値として設定											
40	新たな観光PRの取組	観光ホームページ(観光ナビ)のアクセス件数(ページビュー数) (総合戦略にも計上)	15,886件 (35,045件)	25,217件	29,509件	33,418件	38,084件	56,406件	40,000件	商工観光課	
				【指数の説明】 ICT技術を生かした観光PRとして代表的なものであるホームページへのアクセス件数であり、観光情報について効果的な発信が行われているかを測る指標です。							
【目標値の設定根拠】 年間4,000件を目標値として設定											

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	R6		
41	観光まちづくりの推進	着地型観光事業実施件数 (総合戦略にも計上)	10件/年	13件/年	21件/年	17件/年	17件/年	18件/年	15件/年	A	
				【指数の説明】 村山市観光物産協会が実施している着地型観光事業の実施件数であり、着地型観光の市民参画及び観光まちづくりの進捗状況を測る指標です。							
42	観光インフラや二次交通の整備	ワンコインタクシー利用件数	1,391件	850件	863件	1,281件	1,303件	1,101件	1,600件	D (評価不可)	
				【指数の説明】 公共交通機関等で訪れた観光客等がワンコインタクシーを利用し市内観光地へ巡った件数であり、二次交通の充実度を測る指標です。							
43	宿泊施設の充実	宿泊施設数	6件	7件	9件	10件	10件	10件	8件	A	
				【指数の説明】 市内宿泊施設の数であり、宿泊施設の充実度を測る指標です。							
44	いのちを大切に、豊かな心と タフな精神、健やかな身体の 育成	各学校における組織的・計画的な生徒指導、 教育相談体制や学習支援体制の整備 数	9校	9校	9校	9校	9校	9校	9校	A	
				【指数の説明】 「いのちの教育」を推進するための支援体制が整っている市内小中学校の数であり、いのちの大切さ、思いやりの心及び規範意識が育まれているかを測る指標です。							
45	確かな学力を身につけ、時代 変化に対応できる能力の育成	全国学力学習状況調査の正答率において、 県平均を上回った学校数(小・中学校)	6校	実績なし	6校	7校	4校	7校	9校	B	
				【指数の説明】 全国学力学習状況調査において、各項目それぞれで県平均を上回った市内小中学校の校数であり、子どもたちの確かな学力が育まれているかを測る指標です。							

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	R6		
46	魅力あふれる学校、安心で元気な学校づくりの推進	学校施設の長寿命化数	0校	0校	1校 (合計1校)	0校 (合計1校)	0校 (合計1校)	0校 (合計1校)	2校	学校教育課	
			<b>【指数の説明】</b> 学校施設の設備改修や大規模改造を実施し長寿命化を図った学校施設数であり、児童生徒の安全安心な教育環境の確保を測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 学校適正配置計画及び学校施設長寿命化計画に基づき目標値を設定	C							
47	魅力あふれる学校、安心で元気な学校づくりの推進	児童生徒1人当たりの教育用コンピューター	0.3台		1台	1台	1台	1台	1台	1台	学校教育課
			<b>【指数の説明】</b> 児童・生徒が好きな時にICT機器を使用できるかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> GiGAスクール構想(文部科学省策定)に基づき児童生徒1人につき1台の整備を目指す。	A							
48	郷土に誇りをもち地域とつながる心の育成、学校と地域が協働し支え合う仕組みを構築	歴史イベントへの参加者数 (総合戦略にも計上)	135人/年度		184人	123人	256人	220人	352人	162人/年度	生涯学習課
			<b>【指数の説明】</b> 歴史イベント等の参加者数であり、村山市における歴史や文化財が伝承・活用されているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 5年後に20%増加を目指す。	A							
49	郷土に誇りをもち地域とつながる心の育成、学校と地域が協働し支え合う仕組みを構築	デジタルアーカイブ登録件数	50件		74件	108件	243件	354件	476件	230件	生涯学習課
			<b>【指数の説明】</b> 文化財についてインターネット等でも閲覧できるようにするための登録件数であり、村山市における文化財が伝承・活用されているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 年間30件を目標値として設定	A							
50	活力あるコミュニティ形成に向けた地域の教育力の推進	生涯学習課主催の講座延べ参加者数	1,136人/年度		552人/年度	283人/年度	674人/年度	498人/年度	754人/年度	1,400人/年度	生涯学習課
			<b>【指数の説明】</b> 生涯学習講座のむらやま夢大学及び夢体験塾の年間参加者数であり、生涯学習が推進されているかを測る指標です。  <b>【目標値の設定根拠】</b> 5年後に20%増加を目指す。	D							

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値 R6	担当課 評価	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6				
51	支え合い・助け合える地域福祉の促進	民生委員・児童委員定数充足率	100%	100%	100%	98.60%	98.60%	100%	100%	福祉課	A	
52	支え合い・助け合える地域福祉の促進	いきいきネットワーク協力者充足率	126.81%	147.87%	128.99%	145.71%	125.97%	118.67%	126.81%	福祉課	B	
53	高齢者福祉の充実	介護予防教室への参加者数	99人	52人	59人	64人	92人	97人	117人	福祉課	B	
54	高齢者福祉の充実	高齢者在宅生活率 (総合戦略にも計上)	96.84%	97.32%	96.64%	97.17%	96.49%	93.48%	96.84%	福祉課	B	
55	介護予防事業と介護サービスの充実	ケアプランの点検件数	30件	9件	43件	45件	26件	16件	48件	福祉課	D	

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値						目標値 R6	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	評価			
56	介護予防事業と介護サービスの充実	要介護(支援)認定率	21.4%	20.2%	19.5%	19.1%	18.8%	18.2%	23.5%以下	福祉課	A	
			【指数の説明】 65歳以上の高齢者に対する要介護・支援の認定割合であり、重度化防止の介護(予防)事業の効果を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間増加率を0.35%以内に抑制を目指す。									
57	障がい者の自立を総合的に支援	福祉的就労から一般就労への移行者数	7人	2人 (合計9人)	4人 (合計13人)	7人 (合計20人)	1人 (合計21人)	3人 (合計24人)	31人	福祉課	B	
			【指数の説明】 障がい者就労支援施設利用者のうち一般就労へ移行した人数であり、就職を希望する障がい者への支援が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間4人ずつ移行するとして算定									
58	健康づくりを推進するための環境の整備	むらやま健幸ポイント事業参加者数	100人 (R元)	200人	400人	621人	718	—	900人	保健課	B	
			【指数の説明】 活動量計を使用したむらやま健幸ポイント事業の参加者数であり、市民の健康づくりに対する取り組みを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 村山市民全体の5%の参加者数を目指す。									
59	健康づくりを推進するための環境の整備	特定健診受診率	53.4%	50.3%	52.9%	52.8%	51.7%	51.7%	60.0% (R6)	保健課	D	
			【指数の説明】 国民健康保険加入者のうち40歳以上を対象とした健康診査で、その対象者が受診した割合であり、病気の早期発見・早期治療につながる行動をとっているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 第2期村山市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の目標値に基づき設定									
60	保健・医療・福祉の連携強化、地域医療の充実	休日診療所の診療日数	71日/年度	69日/年度	69日/年度	70日/年度	71日/年度	71日/年度	69日/年度	保健課	A	
			【指数の説明】 休日において診療が受けられる日数であり、休日医療体制の充実度を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 現状の水準を維持									

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値 R6	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6			
61	安心して産み育てる環境の整備	母児の健康確保のための支援施策への評価率 (総合戦略にも計上)	93.1%	調査なし	調査なし	95.7%	92.9%	調査なし	95.0%	子育て支援課	
			【指数の説明】 子育て支援事業計画に基づくニーズ調査で施策に対し「評価する」、「どちらかといえば評価する」と回答した割合であり、子育て支援の取組が推進されているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 子育て支援事業計画ニーズ調査結果より目標値を設定	B							
62	安心して産み育てる環境の整備	乳幼児健康診査受診率 (総合戦略にも計上)	98.5%		99.2%	98.4%	99.7%	98.9%	99.2%	100.0%	保健課
			【指数の説明】 健診受診児の割合であり、母児の健やかな生活に向けた支援が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 実績値により目標値を設定	B							
63	環境負荷の少ない、良好な環境が保たれたまちづくり	市の公共施設から発生する二酸化炭素(CO2)排出量削減率	32.3%		4.0%	24.9%	27.7%	38.8%	36.1%	7.5%	市民環境課
			【指数の説明】 2017年度を基準とした市公共施設のCO2排出量の削減を示す割合であり、自然環境の保全に取り組んでいるかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 村山市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】に基づき設定(小中学校が新電力に切り替えため目標値は達成したが、今後エアコン設置などで排出量の増加が見込まれるため、実行計画策定時の7.5%減を指標とする。)	A							
64	環境負荷の少ない、良好な環境が保たれたまちづくり	果樹剪定枝回収量	154t/年度		27t/年度	事業実施なし	事業実施なし	事業実施なし	事業実施なし	135t/年度	市民環境課
			【指数の説明】 木質資源の有効活用及び不法焼却防止のため回収した果樹剪定枝の回収量であり、大気環境の保全を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 過去5年間の平均回収量に基づき目標値を設定	D							
65	多様な自然を継承するまちづくり	有害鳥獣捕獲頭数(サル、イノシシ、クマ、ハクビシン)	71頭/年度		168頭/年度	129頭/年度	87頭/年度	109頭/年度	123頭/年度	100頭/年度	農林課
			【指数の説明】 野生鳥獣との良好な共存を図るため計画的な保護管理による有害鳥獣の捕獲頭数であり、農林業への被害防止対策が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間を通して3日に1頭程度、有害鳥獣を捕獲するとして算定	A							

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6	R6		
66	持続的に発展していくまちづくり	市民一人一日当たりの家庭ごみの排出量	473g/人・日	489g/人・日	497g/人・日	486g/人・日	479g/人・日	476g/人・日	450g/人・日	市民環境課	
			【指数の説明】 ゴミステーションと戸別収集粗大ごみの合計を人口で除した排出量であり、ごみの発生が抑制され、再利用が促進されているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 ごみ処理基本計画に基づき設定（5年間で5%削減とする目標値）	B							
67	持続的に発展していくまちづくり	太陽光発電装置及び木質バイオマス補助申請数	28件		15件	18件	21件	24件	16件	34件	市民環境課
			【指数の説明】 太陽光発電装置及び木質バイオマス補助申請数であり、再生可能エネルギーの推進を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間1件ずつ増加として算定	D							
68	環境意識を高めていくまちづくり	まちづくり出前講座の開催回数	1回		1回	0回	0回	0回	1回	7回	市民環境課
			【指数の説明】 ごみの分別と減量化などについて市民と情報の共有を図る出前講座の開催回数であり、市民の環境に対する意識の推進を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 年間1回ずつ増加として算定	C							
69	自然災害等から生命を守る体制づくり	防災士資格の取得人数 (総合戦略にも計上)	5人		7人	10人	13人	14人	16人	15人	防災対策課
			【指数の説明】 地域防災を主体的に行うための人材である防災士の資格取得者の人数であり、地域の防災力が高まっているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 地域の防災を主体的に行う人材の育成を後押しするため、市内8地域毎に1人以上防災士の資格取得を目指す。	B							
70	自然災害等から生命を守る体制づくり	がけ地等近接等危険住宅の移転・除却世帯数	除却 1件 移転 1件 (累計2件)		除却 0件 移転 0件	除却 4件 移転 3件 (累計7件)	建設課				
			【指数の説明】 がけ地等に近接する危険住宅の移転・除却件数であり、危険住宅解消の進捗を測る指標です。  【目標値の設定根拠】 除却・移転とも1に5年間で3件の目標値を目指す。(R1:実績なし0件 R2~R6:3件)	D							

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値 R6	担当課	グラフ
				R2	R3	R4	R5	R6			
71	消防・救急体制の強化による 安心なまちづくり	市民による救命処置実施率	57.0%	62.0%	61.0%	67.0%	59.0%	58.0%	67.0%	消防本部	
			【指数の説明】 心肺停止者数のうち、現場に居合わせた人が心肺蘇生を実施した割合であり、各種災害から地域を守る人づくりが行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 現場に居合わせた人による心肺蘇生実施率の10%向上を目指す。平成30年中の心肺停止事案のうち、現場での心肺蘇生実施件数(19/33件)	D							
72	消防・救急体制の強化による 安心なまちづくり	消防団員数 (総合戦略にも計上)	786人		753人	732人	685人	648人	650人	732人	消防本部
			【指数の説明】 地域における消防防災のリーダーで住民の安全安心を守る消防団員の団員数であり、消防体制が強化されているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 現状の水準を維持（平成31年4月1日付の消防団員数） ※令和3年12月16日条例改正に伴い目標値を732人(消防団員定数)に変更。	B							
73	交通・生活安全対策の強化	消費生活相談件数	56件/年		81件/年	61件/年	78件/年	70件/年	76件/年	56件/年	市民環境課
			【指数の説明】 消費生活相談員が、来庁や電話で受ける1年間の相談件数であり、被害防止が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 現状の水準を維持（年々、消費生活相談内容は幅広くなっている。）	A							
74	交通・生活安全対策の強化	交通事故死傷者	死者 1人/年度 負傷者 89人/年度		死者 0人/年度 負傷者 71人/年度	死者 0人/年度 負傷者 77人/年度	死者 0人/年度 負傷者 55人/年度	死者 2人/年度 負傷者 66人/年度	死者 0人/年度 負傷者 45人/年度 以下	死者 0人/年度 負傷者 130人/年度以下	市民環境課
			【指数の説明】 市内の交通事故における死傷者数であり、交通安全対策が充実しているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 第10次村山市交通安全計画に基づき設定	A							
75	地域コミュニティ活動の推進	地域活動推進交付金を活用したまちづくり 協議会の新規自主事業数 (総合戦略にも計上)	6事業/年度		8事業/年度	11事業/年度	12事業/年度	24事業/年度	24事業/年度	6事業/年度	政策推進課
			【指数の説明】 各地域まちづくり協議会が、地域活動推進交付金を活用した新規の自主事業の数であり、地域コミュニティ活動の活発化が図られているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 人口は減少傾向にあるため、現状の水準を維持	A							

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6	R6			
76	地域コミュニティ活動の推進	市民センター利用件数	4,286件/年度	2,452件/年度	2,606件/年度	2,724件/年度	3,085件/年度	3,085件/年度	4,286件/年度	政策推進課	D	
			【指数の説明】 地域活動の拠点である市民センターが利用された件数であり、市民センターで地域に根差したコミュニティ活動が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 近年減少傾向にあるが、現状の水準を維持									
77	多様な市民活動の支援	福祉プラザ入館者数 (図書館、カフェ、保健除く)	61,280人/年度	22,827人/年度	17,410人/年度	26,621人/年度	49,620人/年度	50,890人/年度	70,000人/年度	政策推進課	D	
			【指数の説明】 定期利用団体や各市民団体、各種会議等の利用者数であり、福祉プラザがにぎわいづくりの拠点としてどれだけ市民活動が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 入館者数は年々減少傾向にあるため、より市民の利用促進を図り、7万人台の入館者数をを目指す。(図書館やカフェ、保健など市民活動とは異なる利用者数は除く)									
78	情報の発信と市民参画の推進	市ホームページ閲覧数	386,968件/年度	472,476件/年度	563,577件/年度	631,141件/年度	426,778件/年度	350,951件/年度	446,968件/年度	総務課	D	
			【指数の説明】 市ホームページの閲覧数であり、市政情報について効果的な発信が図られているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 直近一年間の増加件数(約10,000件)に基づき設定									
79	情報の発信と市民参画の推進	委員会・審議会等における女性登用率 (総合戦略にも計上)	33.4%	22.2%	22.4%	21.6%	20.5%	19.4%	30.0%	政策推進課	D	
			【指数の説明】 審議会等への女性の参加を示す割合であり、意思決定過程において男女共同が推進されているかを測る指標です。 (内閣府で実施している「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の進捗状況」調査に基づく。)  【目標値の設定根拠】 現状の水準を維持									
80	市民に開かれた健全な行財政運営	実質公債費比率	11.9%	11.0%	10.0%	8.6%	8.5%	8.6%	10%未満	財政課	A	
			【指数の説明】 一般会計などの財政規模に対する借金返済の割合(借金には公営企業分も含む。)であり、健全な財政運営が行われているかを測る指標です。  【目標値の設定根拠】 今後の財政見通し等を勘案して設定 (参考)H30決算の13市平均:8.6									

No	基本施策	指標名	基準値 (R30)	実績値					目標値	担当課	グラフ	
				R2	R3	R4	R5	R6	R6	評価		
81	市民に開かれた健全な行財政運営	将来負担比率	105.1%	108.1%	95.2%	62.1%	49.3%	20.8%	100%未満	財政課	A	
				<p>【指数の説明】 一般会計などの財政規模に対する現在抱えている負債の大きさを示す割合（負債には公営企業分、一部事務組合分等も含む。）であり、健全な財政運営が行われているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 今後の財政見通し等を勘案して設定（参考）H30決算の13市平均：64.6</p>								
82	行政サービスの向上と人材育成	職員研修参加人数	259人/年度	89人/年度	485人/年度	407人/年度	547人/年度	514人/年度	260人/年度	総務課	A	
				<p>【指数の説明】 職員が各種研修を受講した延べ人数であり、多様な市民ニーズに応えるための人材育成が推進されているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 今後の職員数の見通しを勘案して、現状の水準を維持</p>								
83	行政サービスの向上と人材育成	オンラインで利用できる手続数	11件	25件	26件	27件	28件	54件	54件	政策推進課	C	
				<p>【指数の説明】 インターネット等を利用して可能なオンラインで出来る行政手続きの数であり、効率的な行政サービスが図られているかを測る指標です。</p> <p>【目標値の設定根拠】 「地方公共団体におけるオンライン利用促進指針」(総務省策定)に基づき設定。</p>								